

## 外国語教育メディア学会（LET）外国語教育基礎研究部会第5回年次例会 若手キャリアパス座談会 学校教員志望の部

司会：石井雄隆（早稲田大学）  
福田朱莉（岡崎市立矢作北中学校）  
押見奈美（愛知教育大学大学院）

### 概要

英語教育を巡っては、コア・カリキュラムの策定、2020年大学入試改革など様々な議論が進められています。若手キャリアパス座談会「学校教員志望の部」では、英語教育を巡る社会的状況を踏まえながら、現職の中学校の先生と教員志望の大学院生をお招きし、「院生自体に思っていたことと勤務して分かったことのギャップ」、「教員になった後、自分が大学院で行った研究やその他の活動で教員の仕事に生かされている部分」などの共有を通しながら、大学院進学の意味の共有や若手のうちに身につけておくべきスキル・知識・人間関係などについてフロアと一緒に検討し、明日の英語教育について考えていきたいと思えます。

### 今日の座談会のトピック

- (1) 英語教師への多様なキャリアパス
- (2) 大学院生自体に思っていたことと勤務して分かったことのギャップ
- (3) 大学院時代の研究や学びで生きていること・あるいは今やっつけて生きていること
- (4) 若手のうちに身につけておくべきスキル・知識・人間関係

### 90年代以降の高等教育改革とその教員養成への影響（佐久間，2010）

- 大学設置基準の大綱化
  - 教養教育の縮減，教育内容の矮小化
- 大学設置主体の改革
  - 事後評価制度の導入—教育内容の教員採用試験対策化
- 大学経営方法の改革
  - 地方自治体による教員養成—教育内容の非学問化
- 大学教員の任用や勤務形態の改革
  - 「実務家教員」の増加—教育内容の非学問化・規格化

## 高等学校教員養成課程外国語（英語）コア・カリキュラム策定

- 外国語（英語）コア・カリキュラム 構造図（別紙参照）

### 教師の多忙化

- 教員勤務実態調査（文部科学省，2017）
  - 平日の勤務時間について，職種別に平成18年度と比較すると，小学校では「副校長・教頭」「教諭」，中学校では「教諭」において，勤務時間の増加幅が特に大きい。
- 課外活動の量的拡大にみる教員の多忙化（神林，2015）
  - 1950～60年代に比べて，2000年代後半以降の教員は，事務処理等の周辺の職務に長い時間を費やしているとは必ずしもいえず，他方で教育活動（特に課外活動）に費やす時間が長いという報告
- 大学教員（神田・桑原，2011）
  - 大学教員の研究時間は減少しており，2002年から2008年の6年間で教員の教育活動にかける時間は約2割増加したという報告

### 教師がおこなう授業づくりの過程とその観点（柴田，2015）

- 1. 教材研究
  - a. 何を学ばせるか（教科内容としての知識・技術の確定）
  - b. 教材の選択と解釈
- 2. 授業の設計
  - a. 生徒の予備知識などの実態把握
  - b. 授業目標（学習課題）の設定
  - c. 授業展開（授業過程）の構想
- 3. 授業の展開
  - a. 説明
  - b. 発問
  - c. 指示（学習活動の組織）
  - d. 評価

**中・高等学校教員養成課程  
外国語（英語）コア・カリキュラム 構造図**

- ・「聞くこと」「読むこと」「話すこと（やり取り・発表）」「書くこと」の5つの領域にわたる生徒の総合的なコミュニケーション能力を育成するための授業の組み立て方及び指導・評価の基礎を身に付ける。
- ・生徒の理解の程度に応じて英語で授業ができる指導力を身に付ける。
- ・国際的な基準であるCEFR B2レベルの英語力を身に付ける。

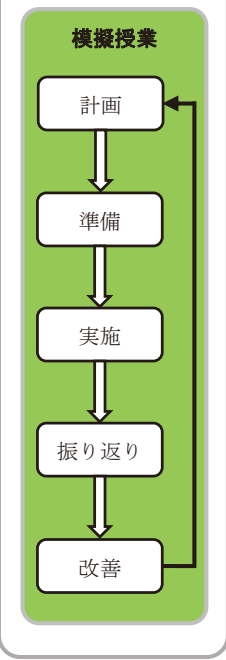
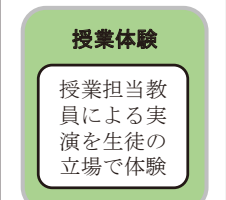
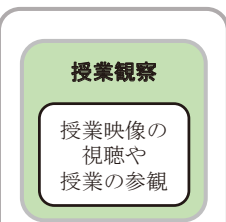
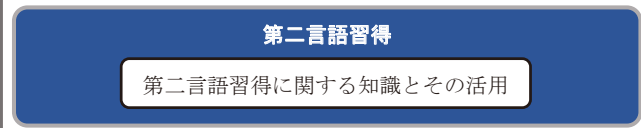
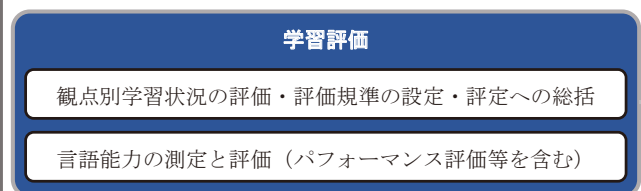
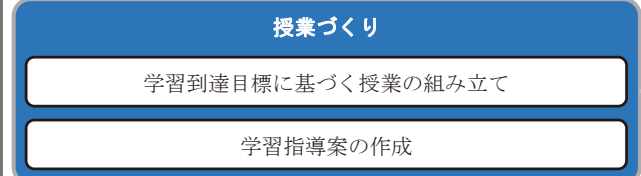
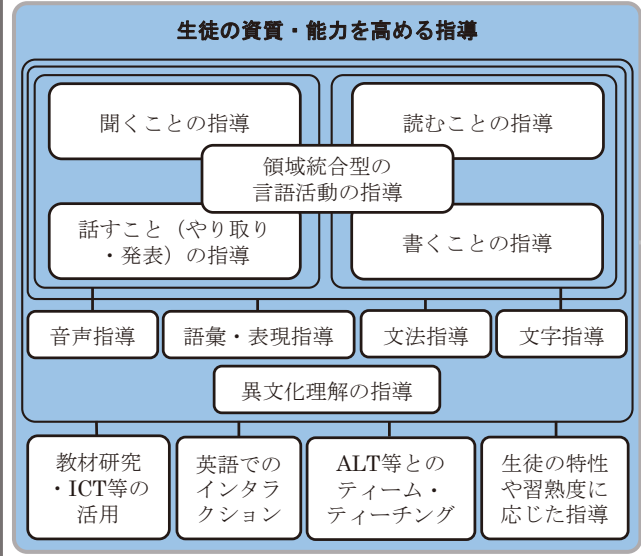
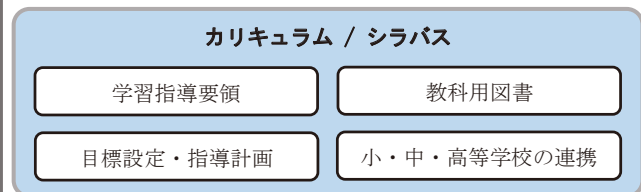
**外国語において育成を目指す資質・能力**  
（「中学校学習指導要領（案）パブリックコメント版」「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について（答申）別添資料」より作成）

- 知識・技能**
- ・外国語の特徴やきまりに関する理解
  - ・言語の働きに関する理解
  - ・外国語の音声や語彙、表現、文法などを、「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」による実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能 など

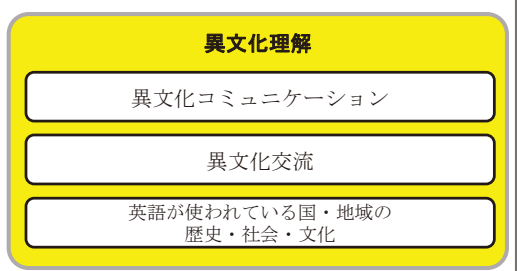
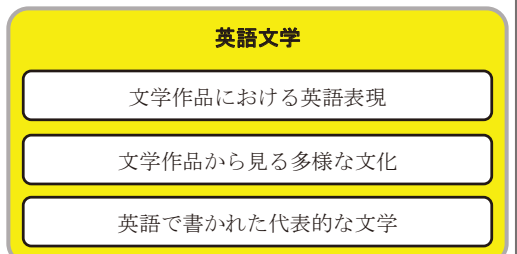
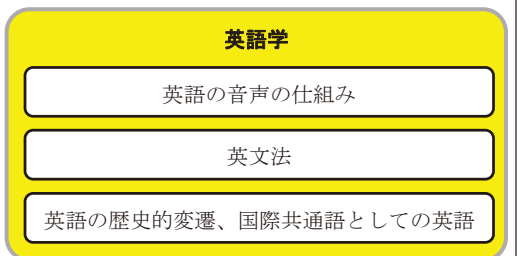
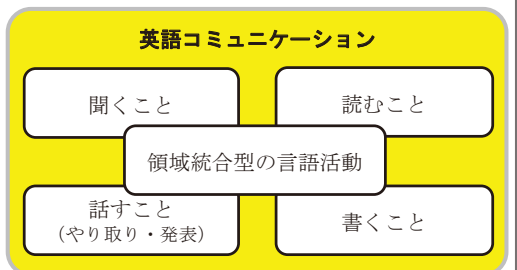
- 思考力・判断力・表現力等**
- ◆ **外国語で表現したり、伝え合ったりすること**
    - ・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、幅広い話題について、外国語を聞いたり読んだりして情報や考えなどを的確に理解するコミュニケーション力
    - ・コミュニケーションを行う目的、場面、状況などに応じて、幅広い話題について、外国語を話したり書いたりして情報や考えなどを適切に表現するコミュニケーション力
    - ・外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、外国語で話したり書いたりして情報や考えなどの概要・詳細・意図を伝え合うコミュニケーション力
  - ◆ **情報を整理しながら考えなどを形成すること**
    - ・目的などに応じて、外国語の情報を選択したり抽出したりする力
    - ・知識や得た情報を活用して、自分の意見や考えを外国語で形成・整理・再構築する力
    - ・形成・整理・再構築した自分の意見や考えを、実際に外国語で表現する力 など

- 学びに向かう力・人間性等**
- ・外国語の背景にある文化を理解しようとする態度
  - ・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度
  - ・他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、情報や考えなどを外国語で話したり書いたりして表現しようとする態度
  - ・外国語を通して積極的に人や社会と関わり、自己を表現するとともに他者を理解するなど互いの存在について理解を深め、尊重しようとする態度 など

**英語科の指導法 【8単位程度を想定】**



**英語科に関する専門的事項【20単位程度を想定】**



※ 「英語科の指導法」及び「英語科に関する専門的事項」については、両者を統合する科目を設定することも可能である。

※ 図中の学習項目は、それぞれを1回の授業で扱うことを意味しているのではなく、必ず扱うべき内容であることを示している。

## [1]英語科の指導法【8単位程度を想定】

### (1)カリキュラム／シラバス

- 学習指導要領
  - ・ 中学校及び高等学校の外国語（英語）の学習指導要領について理解している。
- 教科用図書
  - ・ 中学校及び高等学校の外国語（英語）の教科用図書について理解している。
- 目標設定・指導計画
  - ・ 学習指導要領の「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力等」の3つの資質・能力（以下、「3つの資質・能力」という）とともに、領域別の学習到達目標の設定、年間指導計画、単元計画、各授業時間の指導計画について理解している。
- 小・中・高等学校の連携
  - ・ 小学校の外国語活動・外国語の学習指導要領や教科用図書等の教材、並びに小・中・高等学校を通じた英語教育の在り方の基本について理解している。

### (2)生徒の資質・能力を高める指導

- 聞くことの指導
  - ・ 聞くことの指導について理解し、授業指導に生かすことができる。
- 読むことの指導
  - ・ 読むことの指導について理解し、授業指導に生かすことができる。
- 話すこと（やり取り・発表）の指導
  - ・ 話すこと（やり取り・発表）の指導について理解し、授業指導に生かすことができる。
- 書くことの指導
  - ・ 書くことの指導について理解し、授業指導に生かすことができる。
- 領域統合型の言語活動の指導
  - ・ 複数の領域を統合した言語活動の指導について理解し、授業指導に生かすことができる。
- 英語の音声的な特徴に関する指導
  - ・ 英語の音声的な特徴に関する指導について理解し、授業指導に生かすことができる。
- 文字に関する指導
  - ・ 文字の指導について理解し、授業指導に生かすことができる。
- 語彙・表現に関する指導
  - ・ 語彙・表現に関する指導について理解し、授業指導に生かすことができる。
- 文法に関する指導
  - ・ 文法に関する指導について理解し、授業指導に生かすことができる。

- 異文化理解に関する指導
  - ・ 異文化理解に関する指導について理解し、授業指導に生かすことができる。
- 教材研究・ICT等の活用
  - ・ 教材及びICTの活用について理解し、授業指導に生かすことができる。
- 英語でのインタラクション
  - ・ 英語でのインタラクションについて理解し、授業指導に生かすことができる。
- ALT等とのチーム・ティーチング
  - ・ ALT等とのチーム・ティーチングについて理解し、授業指導に生かすことができる。
- 生徒の特性や習熟度に応じた指導
  - ・ 生徒の特性・習熟度への対応について理解し、授業指導に生かすことができる。

### (3)授業づくり

- 学習到達目標に基づく授業の組み立て
  - ・ 学習到達目標に基づく授業の組み立てについて理解し、授業指導に生かすことができる。
- 学習指導案の作成
  - ・ 学習指導案の作成について理解し、授業指導に生かすことができる。

### (4)学習評価

- 観点別学習状況の評価、評価規準の設定、評定への総括
  - ・ 観点別学習状況の評価とそれに基づく評価規準の設定や評定への総括について理解し、指導に生かすことができる。
- 言語能力の測定と評価（パフォーマンス評価等を含む）
  - ・ 言語能力の測定と評価（パフォーマンス評価等を含む）について理解し、指導に生かすことができる。

### (5)第二言語習得

- 第二言語習得に関する知識とその活用
  - ・ 第二言語習得理論とその活用について理解し、授業指導に生かすことができる。

## [2]英語科に関する専門的事項【20単位程度を想定】

### 1. 英語コミュニケーション

- 聞くこと
  - ・ 様々なジャンルや話題の英語を聞いて、目的に応じて情報や考えなどを理解することができる。

- 読むこと
  - ・ 様々なジャンルや話題の英語を読んで、目的に応じて情報や考えなどを理解することができる。
- 話すこと（やり取り・発表）
  - ・ 様々な話題について、目的や場面、状況等に応じて英語で話すこと（やり取り・発表）ができる。
- 書くこと
  - ・ 様々な話題について、目的や場面、状況等に応じて英語で書くことができる。
- 領域統合型の言語活動
  - ・ 複数の領域を統合した言語活動を遂行することができる。

### 2. 英語学

- 英語の音声の仕組み
  - ・ 英語の音声の仕組みについて理解している。
- 英文法
  - ・ 英語の文法について理解している。
- 英語の歴史の変遷、国際共通語としての英語
  - ・ 英語の歴史の変遷及び国際共通語としての英語の実態について理解している。

### 3. 英語文学

- 文学作品における英語表現
  - ・ 文学作品において使用されている様々な英語表現について理解している。
- 文学作品から見る多様な文化
  - ・ 文学作品で描かれている、英語が使われている国・地域の文化について理解している。
- 英語で書かれた代表的な文学
  - ・ 英語で書かれた代表的な文学について理解している。

### 4. 異文化理解

- 異文化コミュニケーション
  - ・ 世界の文化的多様性及び異文化コミュニケーションの現状と課題を理解している。
- 異文化交流
  - ・ 多様な文化的背景を持った人々との交流を通して、文化の多様性及び異文化交流の意義について体験的に理解している。
- 英語が使われている国・地域の歴史・社会・文化
  - ・ 英語が使われている国・地域の歴史・社会・文化について基本的な内容を理解している。